

犠牲者の冥福祈る

石巻、南三陸で慰霊法要

とア
会イ
教テ
生ラ
桐ボ

桐生災害ボランティアセンター
(宮地由高センター長)と桐生仏教会は10、11の両日、東日本大震災で被災した宮城県石巻市と南三陸町を訪れ、慰霊法要を行った。

現地を訪れたのは同センターのメンバー17人と僧侶10人の計27人。10日は大震災発生後から継続的に支援してきた石巻市牧浜を訪れ、慰霊法要とカキ漁師との交流会を実施。11日は南三陸町の津龍院、西光寺、伊里前商店街、防災対策庁舎前で慰霊法要をし、参列者が手を合わせて犠牲者の冥福を祈った。一行は仮設住宅も訪

訪れ、泥のかき出しやがれき撤去に取り組んできた。発生から丸3年という節目に現地入りした宮地さんは「復興は進んでいないというのが実感だ。がれきはなくなつたが、そこに住んでいる人たちの生活をどうするのかという問題はまだ片付いていない。これからも

支援

東日本大震災関連

暮らし



南三陸町防災対策庁舎前で行われた慰霊法要